

HAKODATE DESIGN VILLAGE 100年の記憶を次の世代へ

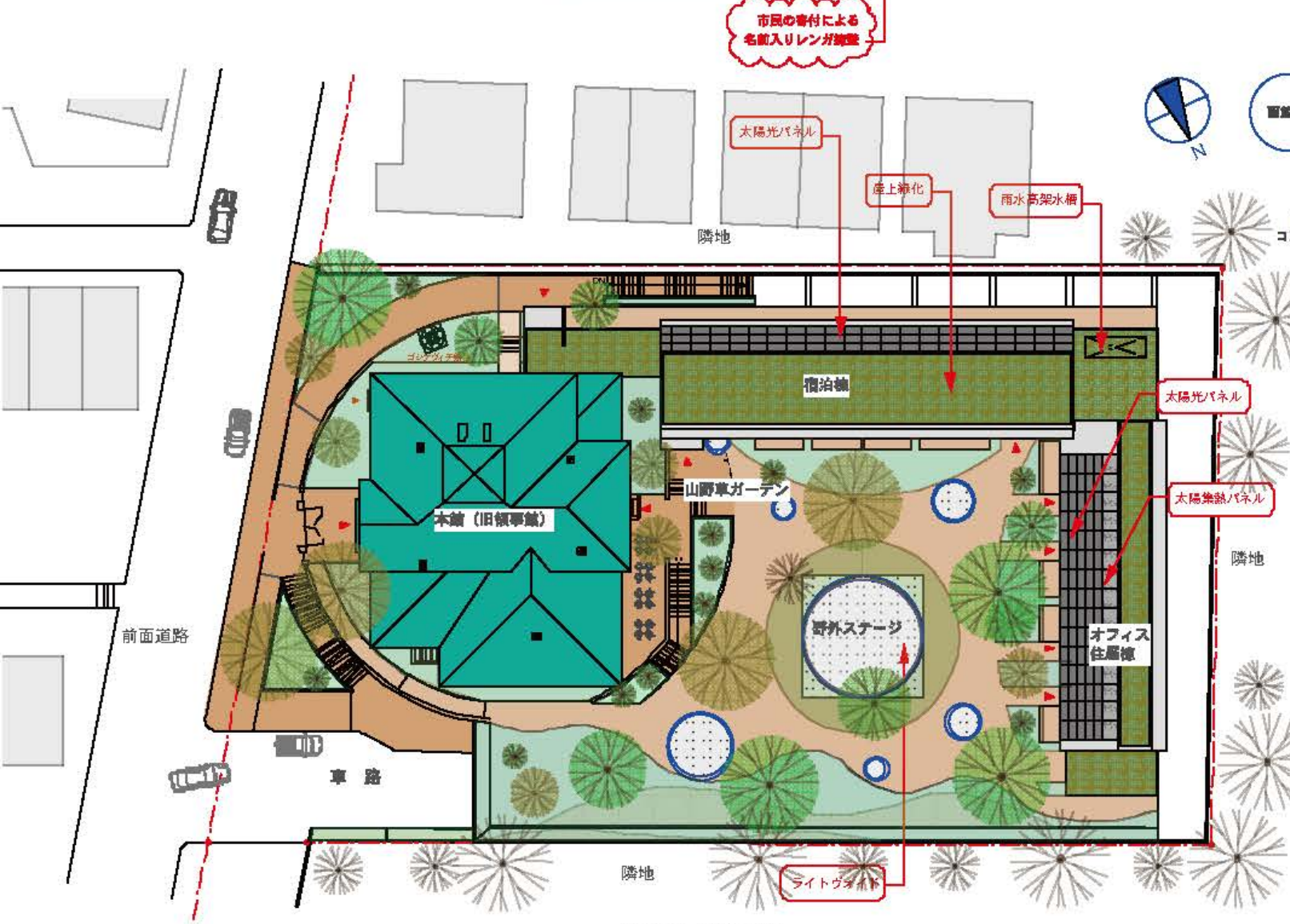
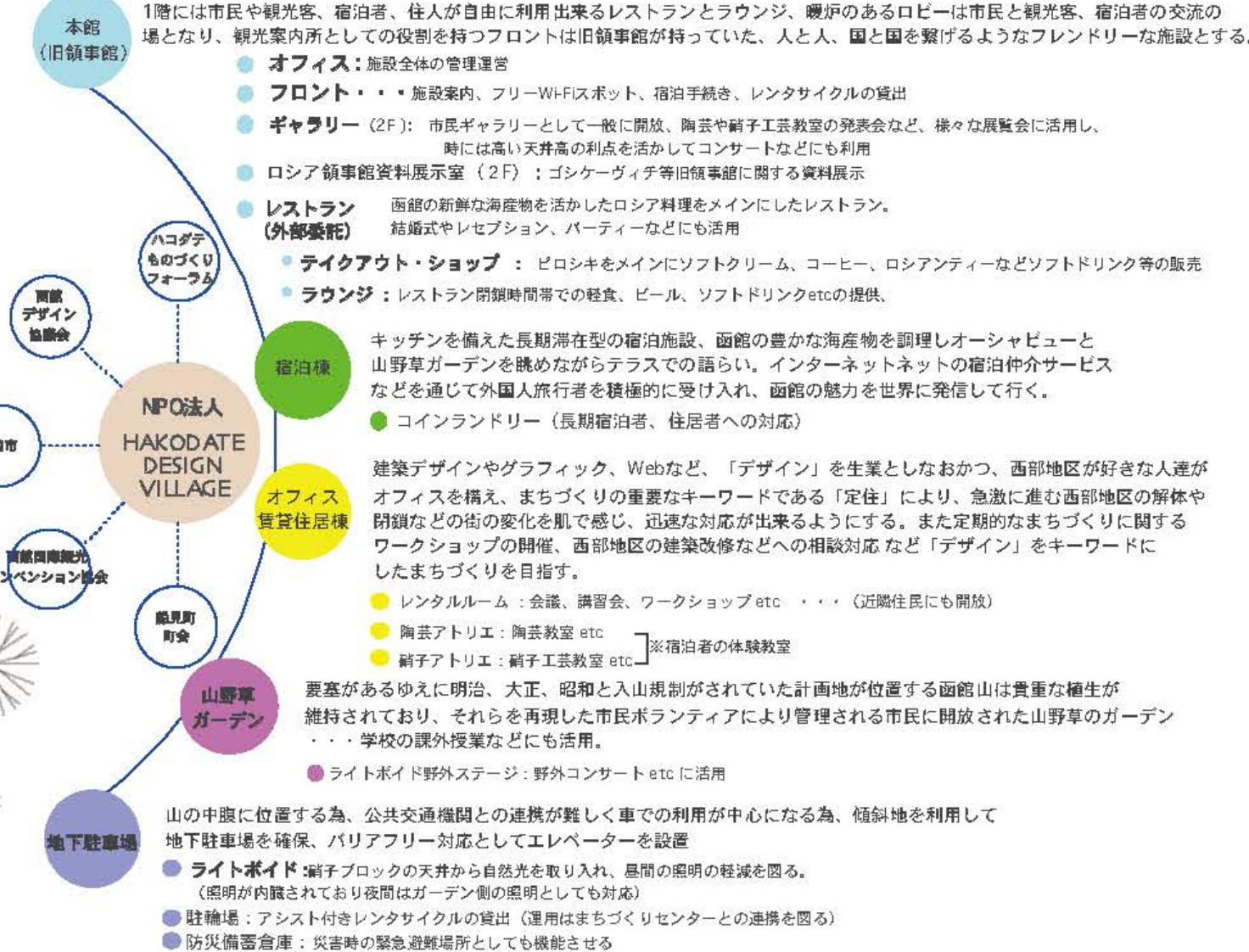


設計主旨

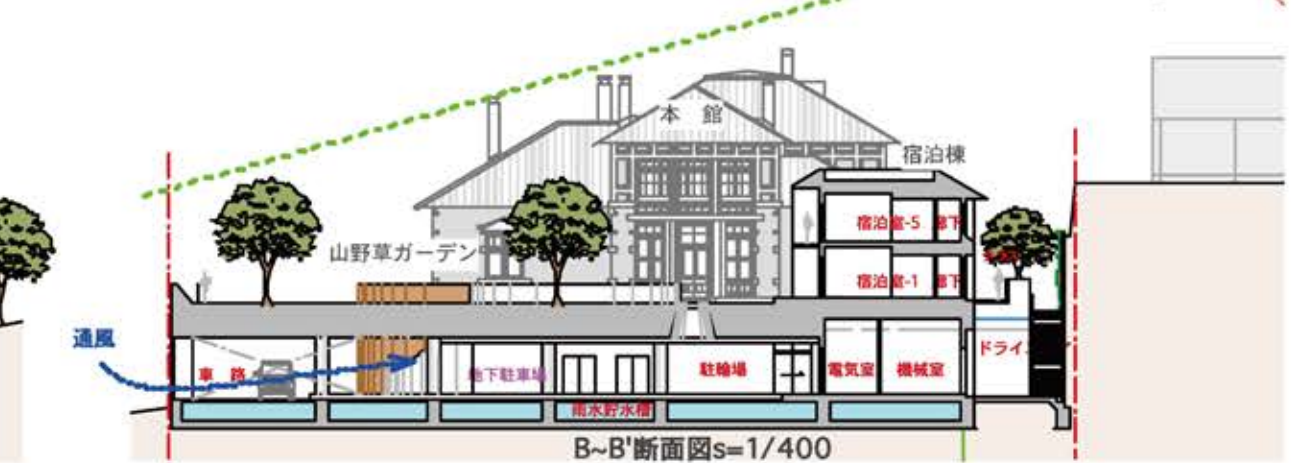
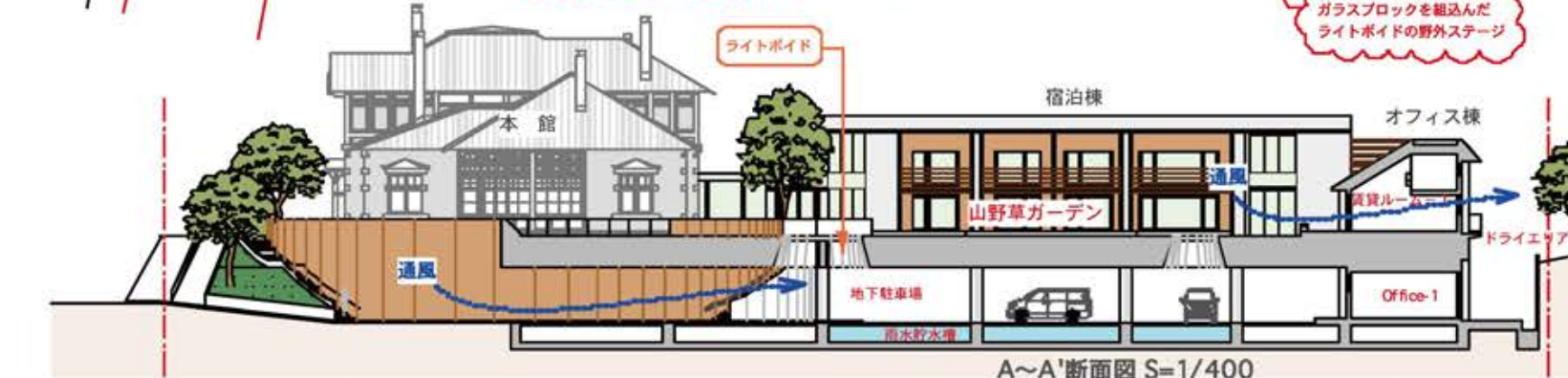
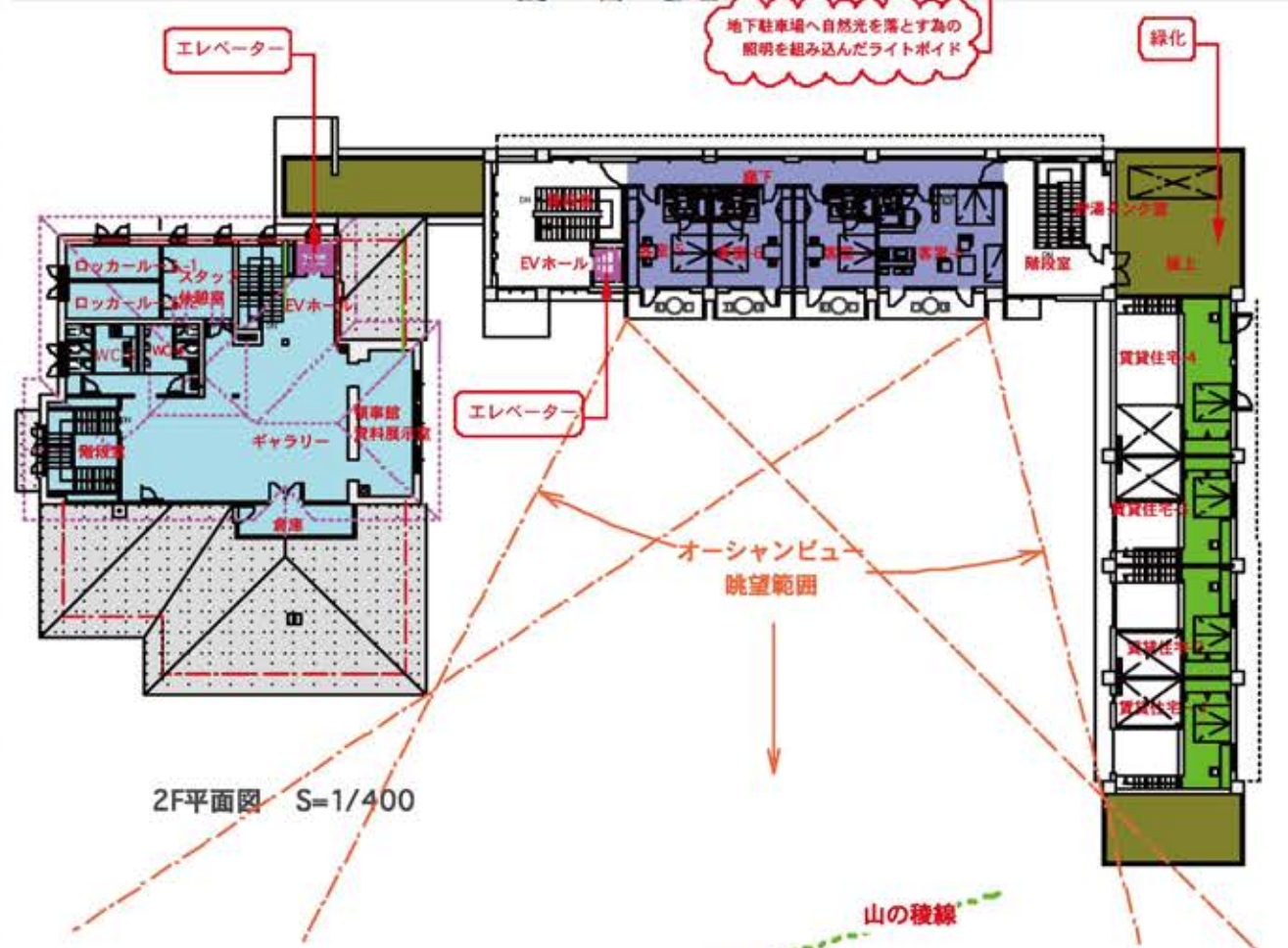
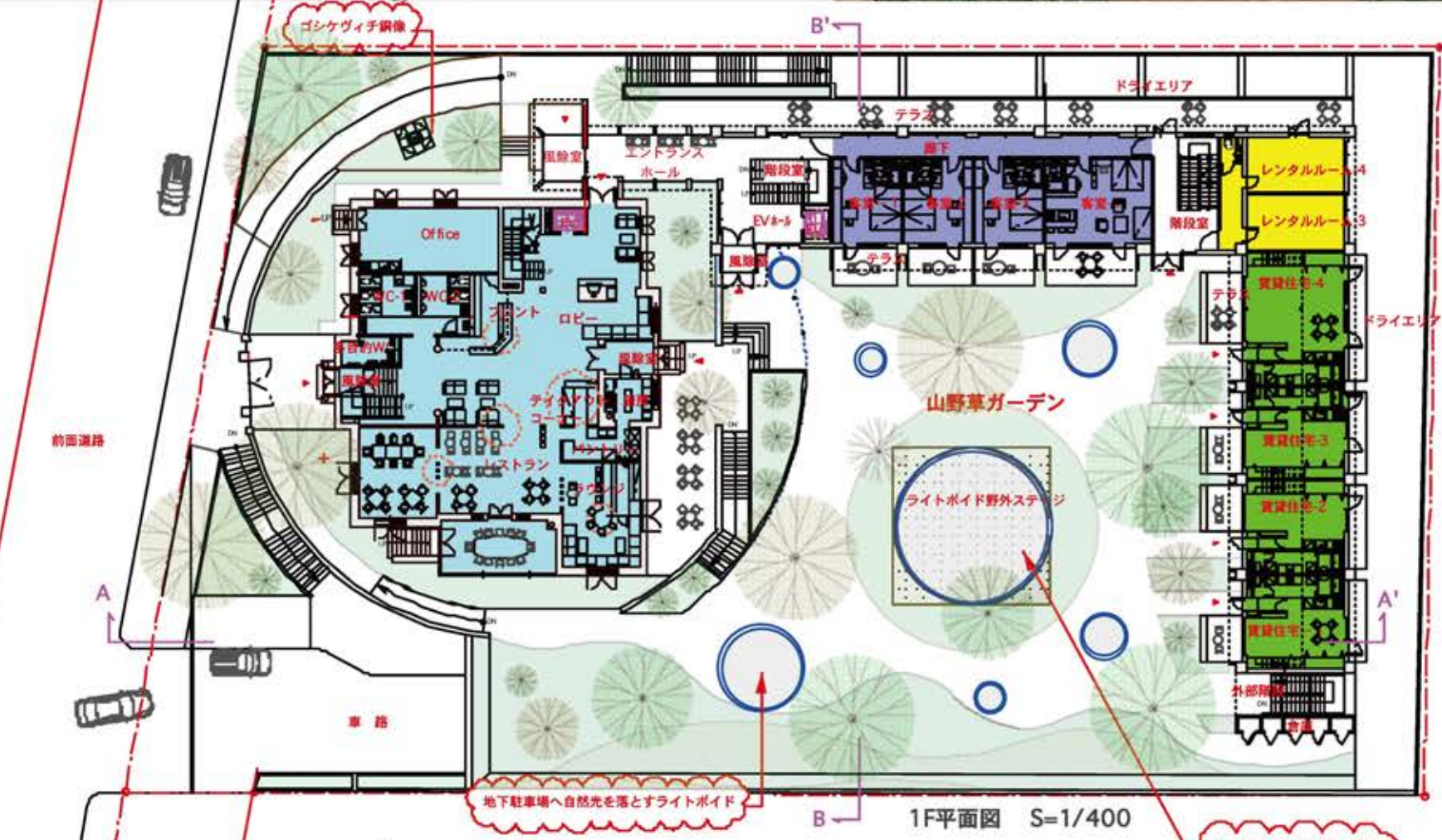
本計画は、函館港開港以来の歴史と深く関わった旧ロシア領事館のリノベーションを通して、歴史ある建物を活用しながら保存し、歴史を未来へと繋ぐ提案です。現存の施設は旧領事館の外観のみを残し、増築した賃貸型住居、キッチン等を備えた長期滞在型の宿泊施設、会議等に使用出来るレンタルルームを配した賃貸オフィスで構成されています。100年の記憶を次の世代へ繋ぐため、そこは居住する場であり、訪れる人にとって心地よい空間である事が不可欠です。また、領事館が函館に実存した意味を深く考え、海外からの観光客を積極的に受入れる施設とします。本館は1階にレストランとラウンジ、2階にはコンサート会場としても使用出来るギャラリーを備え、函館西部地区の観光と文化の拠点の一つとなる施設を目指しました。また本館フロントには、観光案内所を設置、再生可能エネルギーを導入した環境に考慮した施設である事。地階のオフィスにはデザイン関連のまちづくりに理解ある企業の入居により、解体や閉鎖等、街の変化を素早く感じ取り、早期な対応を可能とします。また計画地は公共交通機関の利用が困難である為、傾斜地を利用した人工地盤による地下駐車場と駐輪場のアシスト付きレンタルサイクルにより解消される。この提案を元に、まちづくりセンター等との連携を計り西部地区全体の賑わいある空間が広がる可能性が見えて来ます。野外ステージのある函館山の植生を再現した山野草ガーデンと港を見下ろす景観の素晴らしさは、観光客のみならず居住者の憩いの場所となる事でしょう。駐車場入口のR形の擁壁は市民の方々に協賛として購入して頂いた名前入りのレンガ積みとする事で、このプロジェクトへの関わりを持った人々が多ければ多いほど、100年後の未来へ繋がる希望が現実になる様に思います。

運営形態 施設解説

外観はそのままに大断面集成材SE工法による耐震補強と断熱改修、間仕切り変更に伴い内部の全面改修を行いエレベーターを設置、1階には市民や観光客、宿泊者、住人が自由に利用出来るレストランとラウンジ、暖炉のあるロビーは市民と観光客、宿泊者の交流の場となり、観光案内所としての役割を持つフロントは旧領事館が持っていた、人と人、国と国を繋げるようなフレンドリーな施設とする。



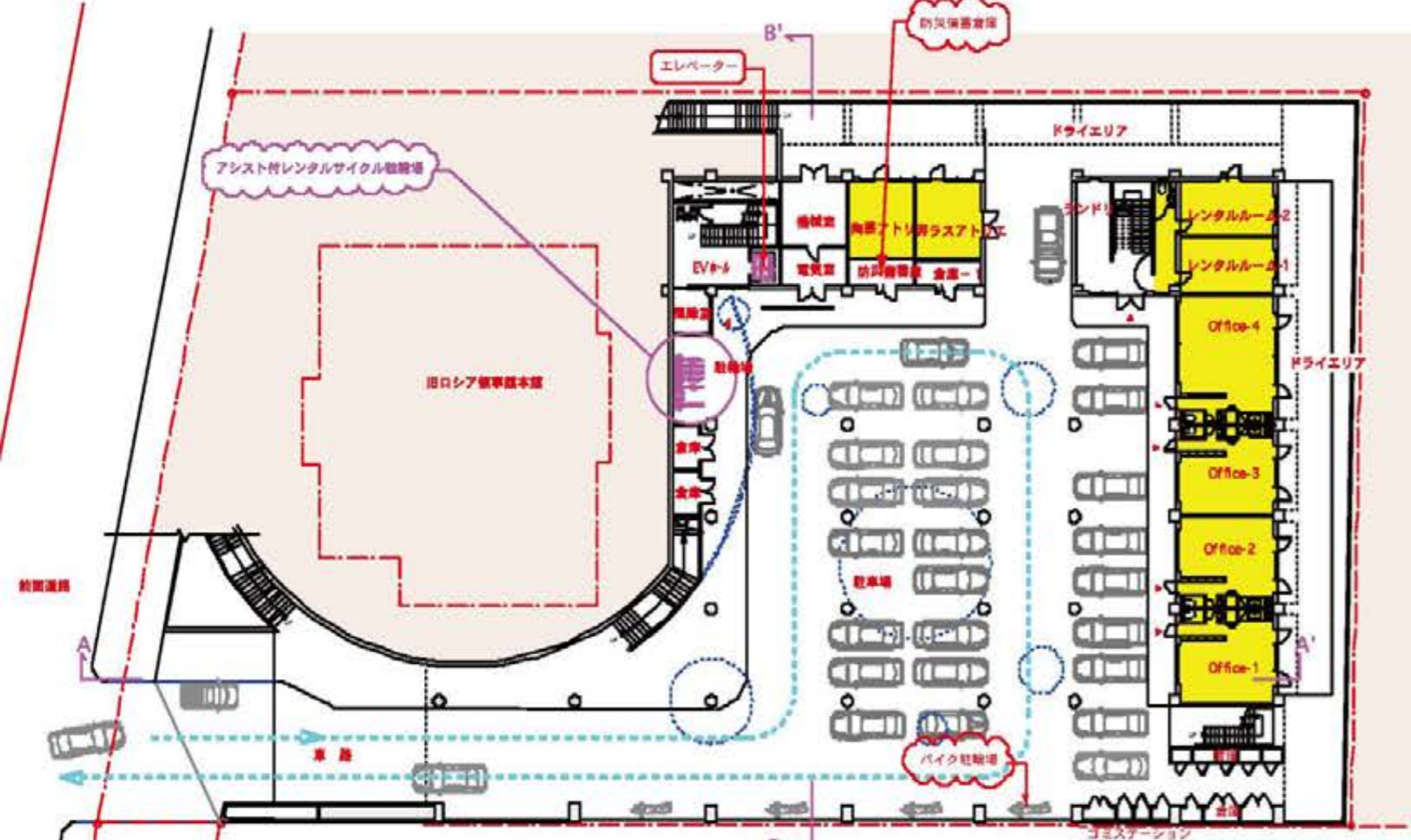
HAKODATE DESIGN VILLAGE 100年の記憶を次の世代へ



HAKODATE DESIGN VILLAGE 100年の記憶を次の世代へ



南 立面図 S=1/400



BF平面図 S=1/400

建築概要

- 構造
増築部：RC打放ラーメン構造
本館（旧領事館）：大断面集成材組工法による耐震化
- 規模：地下1階、地上2階
- 面積

敷地面積	3,732,23㎡		
建築面積	980,61㎡	建ぺい率	26.27%<60%
延床面積	3,077,64㎡	容積率	82.46%<200%
B-F床面積	1543,77㎡		
1-F床面積	956,05㎡		
2-F床面積	577,82㎡		

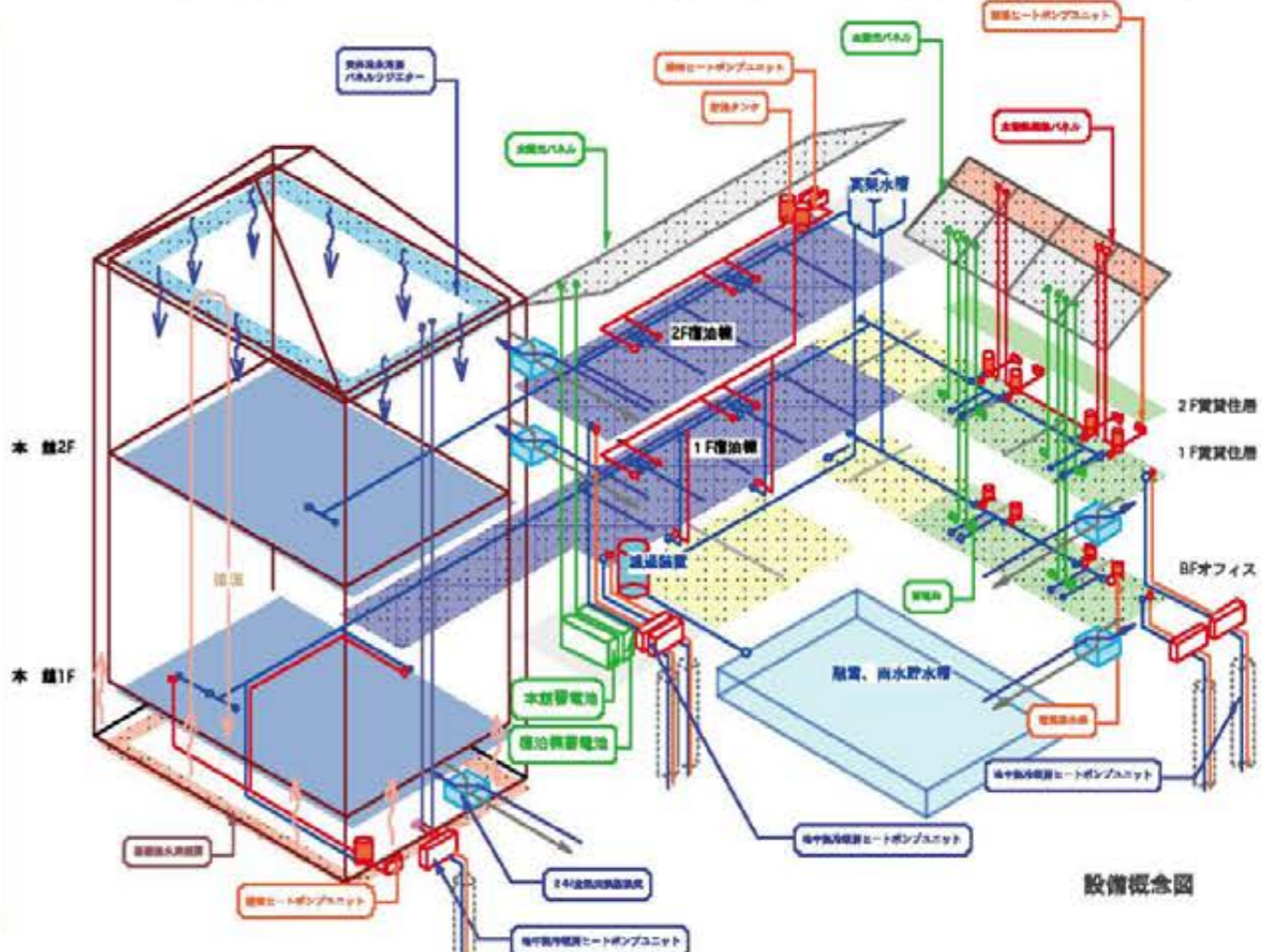
- 外部仕上
屋根：RC打放+屋上緑化工法
外壁：RC打放（一部レンガ構）+セルフクリーニングコート
床：インターロッキング+道南ヒバ（ウッドデッキ）
- 内部仕上
天井：珪藻土コテ塗り+木製ルーバー
壁：珪藻土コテ塗り、一部レンガ構
床：土足仕様フローリング、一部タイル張
- サッシュ：木製Low-Eトリプルサッシュ
- 断熱
基礎、スラブ：ビーズ洗ボリエスチレンフォーム100mm
壁：不燃発泡ウレタン吹付50mm
屋根：不燃発泡ウレタンフォーム100mm

設備計画概要

設備計画は次世代省エネ基準であるQ値-1.0の建築をベースに、施設内で使う電気と水については太陽光発電や雨水、融雪水などの再利用による自給自足を目指し、商用電源と上水については補助的なものとしています。また、冷暖房、換気設備については地中熱を取り入れた熱交換システムとし電力消費の低減を可能にしています。

このように自然エネルギーの積極的な利用によりランニングコストの削減と環境への負荷の低減、また災害時のライフラインの途断にも対応出来る内容としています。

- 電気：太陽光発電+蓄電池
- 給水：雨水、融雪水、ろ過水
- 給湯
本館：空気熱ヒートポンプ
宿泊棟：空気熱ヒートポンプ
賃貸住居：太陽熱温水器+空気熱ヒートポンプ（補助）
オフィス：電気温水器
- 暖冷房、空調換気
地中熱ヒートポンプシステムと床下に敷設されたパイプで高断熱化した基礎に蓄熱し、24H熱交換換気システムを介して室内を循環させる床暖房空調システム。
本館：地中熱ヒートポンプ冷暖房システム+24H熱交換換気システム
宿泊棟：地中熱ヒートポンプ冷暖房システム+24H熱交換換気システム
賃貸住居：地中熱ヒートポンプ冷暖房システム+24H熱交換換気システム
オフィス：地中熱ヒートポンプ冷暖房システム+24H熱交換換気システム



設備概念図